

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	川西市立清和台小学校 教諭 田中 富二子	研究グループ名 共に学び個を生かす学級作りの会	21
-----------------	-------------------------	----------------------------	----

研究テーマ分類番号 (15)

(1) 研究テーマ
共に学び個を生かす学級作りをどのように進めていくか？ ～発達に課題のある子どもたちを通常学級の中で育てる方法をさぐる～
(2) 研究経過及び具体的な取組
研究会参加 ① 発達検査の見方、解釈の仕方 (7月30日) 4名参加 ② 川西市特別支援教育研修参加 (8月25日) 6名参加 8月19日 講師を招いての事例検討会(1) 川西市教育情報センター指導室 参加者10名 ① 事例1—緘黙で、LD的要素のある子についての手立て ・モデルを見せる、安心できる環境作り、自信を持って取り組める事を作る、 ・「失敗しても平気だ」と返していく大切さ ② 事例2—アスペルガー傾向のある子について 学校全体で情報交換ができるようになった。今後の対応策について検討 ・居場所を作る・友達と仲良くなる方法を教える ・他者と双方向にコミュニケーションをとる活動を促す ・親への進路の情報を伝える ・社会性を身につけるためにプラスの経験を積み上げる ③ 働くために必要なこと 就労を継続するために小中学校で必要な保護要因、リスク要因を交流 9月19日 情報交換や研究会参加の内容を交流 川西中学校 参加者4名 10月28日 講師を招いての事例検討会(2) 川西市教育情報センター指導室 参加者8名 ① 事例1—発達に課題のある子について ・この子にあった環境を整える・集団の認識を変える・投薬の適合性 ② 事例2—知的に高く、こだわりが強い子 ・養育環境が原因—母の子育てを改善、子どもと親の関係作りをする ・注意は肯定文です。NGワードを限定する。社会のルール、マナーにつなげる ③ 事例3—授業中に席を離れる、危険行為、授業妨害等で落ち着かない子 ・見通しの持てる対応—スケジュール、予告、変更しない ・気持ちの発散を考える、周囲が受け入れて興味あるものを見つける 1月未定 今年度のまとめ 予定 成果と課題 事例をもとに具体的な取り組みや手立てについて交流、検討することができた。様々な情報や引き継ぎはあるが、周囲の状況が変わっていくことで、子どもの状態像も変化して同じように取り組めない事がよくある。そこを仕切り直し方向転換を図る判断の大切さ、どう方略を立てていくかの見立て方について考える機会となった。

